

I 報告事項

1 令和2年度学校運営協議会における「地域・家庭の方策」

CS	取組	状況
広尾小	家庭の交流（話し合い）の充実について啓発	実施
	地域の人材を活用した広尾町の歴史等の学習	
	「コロナ」の経験にかかわるタイムカプセルの作成	
豊似小	親の仕事をビデオで撮影して学校に提供	
	収穫期の様子をドローンで撮影し学校に提供	
広尾中	スマホやコンピューターの有効な活用に関して地域・家庭へ啓発	実施

2 令和2～3年度各学校運営協議会における協議の経過と本年度の「地域・家庭の方策」

① 協議経過（令和2年10月以降）

会議名	開催時期	議事	熟議
令和2年度第3回	令和3年1月	学校関係者評価	目指す子ども像
令和2年度第4回	令和3年3月	学校運営方針の承認	教育環境分析
令和3年度第1回	令和3年6月	学校運営への意見	地域・家庭の方策
令和3年度第2回	令和3年7～8月	地域・家庭の方策	子どもたちの実態
令和3年度第3回	令和4年1月（予定）	学校関係者評価	目指す子ども像
令和3年度第4回	令和4年3月（予定）	学校運営方針の承認	教育環境分析

【参考】令和3年度の重点教育目標

広尾小 「よく考えて行動する子どもを育てる」

豊似小 「学びに向かう力を磨き、基礎基本の定着と深い学びを追求する児童」

広尾中 「自ら課題を見つけ、自ら考え、最後まであきらめずに取り組む生徒」

② 地域・家庭の方策

CS	取組	状況
広尾小	家庭への啓発チラシ（家族会議・子どもの体験等）	済
	家族会議の様子を紹介	
	「町のリーフレットづくり」への協力（学校との連携）	
豊似小	家庭への啓発チラシ（効果的な褒め方叱り方・手伝い等）	済
	人との交流機会の設定（町内の学校との交流・学校図書館の利用）	
広尾中	家庭への啓発チラシ（生活習慣づくり等）	済
	地域学習における人材活用への協力（学校との連携）	

3 各学校からの支援要望への対応状況

令和2年度

	学年等	時期	対応状況
広尾小	3年～6年 理科	5月中旬 ～ 6月中旬	オオバナノエンレイソウ群生地のガイドをしてほしい。 できれば各学年ごとに4回に分けて学習させたい。⇒ コロナ対応のため中止
	6年 総合的な学習の時間	5月下旬 ～	修学旅行の自主研修のコース選択の最初の場面で、札幌のおすすめスポットなどの資料をいただきたい。⇒ コロナ対応のため中止
	5年 家庭科	6月～7月	裁縫の授業で、お手伝いしていただける方がいればお願いします。(玉結び、玉留め、波縫いなど) ⇒ コロナ対応のため中止
	5・6年 家庭科	11月	調理実習で、細かい切り方・洗い方などの指導を一緒にお願いしたいです。⇒ たんぽぽの会、コロナ対応のため中止
	4年 音楽科	12月	陣屋太鼓保存会が協力⇒ 昨年度紹介、学校が直接コンタクトをとり実施
豊似小	体育	2月	スキー学習の指導者として協力していただきたい。⇒ 地域住民・保護者・役場職員5名が協力
広尾中	3学年 総合	10月 ～ 11月	「町おこしのための提案」に関する活動に町職員の協力をお願いしたい。⇒ 村瀬町長、企画総務課長、課長補佐、水産商工課が説明

令和3年度(予定含む)

	学年等	時期	対応状況
広尾小	3学年 ～ 6学年	2学期	総合的な学習の時間に「広尾町の漁業と関連する学習」を行うので、漁業関係者と連携した取組をしたい。
豊似小	全校	2学期	「地域本物体験学習」として、地域の漁業を学ぶことに支援をお願いしたい。
広尾中	1学年 2学年	2学期	「職業しらべ」・「職業体験」の学習への講師派遣をお願いしたい。

4 広尾っ子応援団登録、応援メッセージ

① 啓発活動（令和2年9月20日以降）

No.	期日	記録
1	令和2年9月以降随時	応援メッセージ紹介（広尾っ子応援団だより）
2	令和2年9月以降随時	広尾っ子応援団の活動を紹介（広報：隊員日記）
3	令和2年10月以降	応援メッセージ掲示（放課後読書ふれあい広場）
4	令和2年10月6日	すまいる元気塾で説明
5	令和2年10月以降	家庭教育サポート企業とのタイアップ事業参加募集
6	令和3年3月2日	家庭教育サポート企業5者、合同協定締結
7	令和3年4月以降	コミュニティ・スクール活動紹介（広報：CSの窓から）
8	令和3年6月23日	すまいる元気塾で広尾っ子応援団の取組紹介
9		
10		

5 情報発信

① 広尾っ子応援団だより（令和2年9月以降）

No.	発行時期	主な掲載内容
27	令和2年9月	広尾町の重点施策、重点教材授業
28	令和2年10月	重点教材授業、応援団本部会議の内容、応援メッセージ
29	令和2年10月	重点教材授業、広尾町管理職員全員が登録、応援メッセージ
30	令和2年10月	地域支援授業、応援メッセージ
31	令和2年11月	重点教材授業、地域支援授業、CSアンケート、応援メッセージ
32	令和2年12月	重点教材授業、地域支援授業、CSアンケート
33	令和2年12月	地域支援授業、家庭教育サポート企業、応援メッセージ
34	令和3年1月	学校運営協議会委員・協議内容、ふれあい広場、応援メッセージ
35	令和3年2月	学校運営協議会熟議「育成したい資質・能力」
36	令和3年3月	地域支援授業、学校運営協議会協議内容、家庭教育サポート企業
37	令和3年3月	学校運営協議会協議内容、熟議「教育環境分析」
38	令和3年3月	管内教育実践表彰、運営協議会内容、応援メッセージ
39	令和3年4月	各学校の重点教育目標、応援メッセージ協力、応援団登録依頼
40	令和3年5月	重点教材授業、各学校の支援要望、放課後活動、応援メッセージ
41	令和3年6月	応援メッセージ、運営協議会内容、重点教材授業
42	令和3年7月	運営協議会内容、応援メッセージ
43	令和3年8月	地域支援協力、応援メッセージ、運営協議会内容
44	令和3年9月	運営協議会内容、重点単元の授業紹介、放課後の活動紹介

(送付) 広尾っ子応援団本部委員、学校運営協議会委員、小中学校保護者、広尾っ子応援団登録者、広尾町役場全職員(メール)、町内会回覧、十勝教育局、広尾高等学校長
小・中学校長(R3, 4月より追加)

(掲示) 役場庁舎内4箇所、放課後読書等ふれあい広場(青館内)、ウェブサイト

② 広尾町公式ウェブサイト掲載(令和2年9月以降、新規に掲載したもの)

ア CS導入までの広尾町の取組

- 町民アンケート結果及び分析
- 広尾町コミュニティ・スクール運営の手引き

イ 学校運営協議会の取組

- 令和2年度第3回、第4回学校運営協議会報告
- 令和3年度第1回、第2回学校運営協議会報告

ウ 広尾っ子応援団本部の取組(twitterでも発信)

- 広尾っ子応援団だよりNo.27~No.44

③ 放課後読書等ふれあい広場

ア 令和2年度(4月、5月はコロナ対応による学校休業のため未実施)

実施日数 61日 参加児童延べ299名 地域住民延べ21名

*令和3年1月から青少年研修センターで実施

イ 令和3年度(8月末までの状況)

実施日数 21日 参加児童延べ78名

*コロナ対応のため、地域住民の参加は自粛

*緊急事態宣言のため、5月17日から6月20日まで、及び、8月27日から9月30日の間は施設閉鎖のため未実施

6 町民アンケート

(目的)

コミュニティ・スクール制度導入による学校と地域に対する町民及び教職員の意識変化を把握し、今後の推進方針の確立や方策の改善に資する。

(内容) 平成30年5月実施のアンケート用紙と同じ

(期日) 令和2年11月

(主な結果)

●地域住民

【肯定的な回答が増加し、否定的な回答や「分からない」の回答が減少した項目】

1. 子どもの問題や教育について学校と地域がともに話し合う場に参加したことがあ

る。

2. 学校の教育目標（どのような子どもを育てようとしているか）を知っている。
3. 子どもたちが地域に出て、学ぶ授業が結構ある。
4. 学校では、地域の人を招いた授業が多く行われている。
5. 学校の授業では、地域の様々なことが取り上げられている。
6. 学校は地域の課題に対応した教育活動を行っている。
7. 学校の教育活動には、地域の意見が反映されている。
8. 学校の授業では、地域の人から取材した内容が活かされている。
9. 学校の「育てたい子ども像」に地域の意見が反映されている。
10. 学校には、教育に関する地域の意見を積極的に聞く係が置かれている。

【肯定的な回答が減少し、否定的な回答や「分からない」の回答が増加した項目】

なし

●教職員

【肯定的な回答が増加し、否定的な回答が減少した項目】

1. 子どもの学力や生活指導に関して、地域の力を信頼している
2. 学校では、地域の人を招いた授業が多く行われている。
3. 学校の「育てたい子ども像」に地域の意見が反映されている
4. 学校には、教育に関する地域の意見を積極的に聞く係が置かれている
5. 学校が地域に支援を求める際には、担当となる教職員を配置している
6. 学校では、教職員が住民と一緒にあって教育を考える場がつけられている
7. 地域が、学校の運営に関して校長の方針を承認する権限をもつ
8. 地域が、学校の教育に関する重点目標を承認する権限をもつ

【肯定的な回答が減少し、否定的な回答が増加した項目】

なし